



▲中田市長

# 施政方針 ～まかぬ種は生えぬ～ 更に飛躍する南あわじ

第61回市議会定例会が2月23日に招集され、平成27年度施政方針と予算案が提案されました。その概要をお知らせします。なお、施政方針の全文と予算の詳細は、ホームページからご覧いただけます。(予算と主要事業の記事は8～11頁)

昨年末の衆議院議員選挙により国政の新しい体制が固まりました。安倍総理は「景気回復、この道しかない」と明言され、経済の好循環の流れを止めることなく国民生活を豊かにしていくと述べられており、地方創生への動きが益々加速していくことは間違いありません。

兵庫県では、井戸知事の熱意により「津波防災インフラ整備5箇年計画」などの各種防災対策や「あわじ環境未来島特区」「食のブランド淡路島」の推進、特に本年は3月21日から開幕する淡路花博2015花みどりフェアにも尽力をいただいています。

本年1月11日、南あわじ市は市制10周年を迎えました。新庁舎やあわじ島まるごと食の拠点施設、若人の広場公園などのビッグプロジェクトも完成間近であります。庁舎一本化に伴う分庁舎廃止や組織再編、市民交流センターの開設など行政の仕組みも転換期となります。職員一丸となって住民サービスの提供に万全を期してまいります。

我が国は地方創生・人口減少克服という構造的課題に直面しています。我々地方自治体も、ただ立ちすくんでいるわけにはいきません。「まかぬ種は生えぬ」将来を見据え施策を検討し熟慮断行するとともに、これまでの施策を礎に更なる飛躍を目指し新たな施策にも取り組んでまいります。

その1は「防災・減災対策」です。発生が危惧される南海トラフ巨大地震、増加するゲリラ豪雨や土砂災害などあらゆる自然災害に対しても常日頃から備える必要があります。

より強固な住民の皆さんへの情報伝達手段を構築し、兵庫県が策定した津波防災インフラ整備5箇年計画に基づき取組みをすすめる、老朽化したインフラの改善や長寿命化、安全対策や改良などを推進します。

阪神・淡路大震災から20年となりました。震災を経験したことのない世代も増えてきています。ハード対策だけでなく、防災訓練や防災教育などソフト対策を継続してまいります。また、大規模災害など不測の事態に対応するため新たに危機管理部を設置します。

### その2は「少子高齢化対策」です。

「地域は人から」だと私は考えます。国でも人口減少の克服や一極集中の是正など地方創生の動きが本格化してきており、我々地方自治体にも独自の取組み、工夫が求められています。人口減少対策は取組んですぐには効果が表れません。だからこそ早急な取組みが必要であります。これまでも定住化促進・少子対策に重点を置いてまいりましたが、更に思い切った施策に取り組んでまいります。

その3は「鳴門の渦潮やあわじ島まるごと食の拠点施設、若人の広場公園などを起爆剤とした地域の活性化」です。

昨年12月「兵庫・徳島『鳴門の渦潮』世界遺産登録推進協議会」が発足いたしました。また3月21日から開催される「淡路花博2015花みどりフェア」に合わせてオープンする「あわじ島まるごと食の拠点施設」や「若人の広場公園の再整備」も完了しました。観光振興による交流人口の増加は、活力ある地域づくりのために必要不可欠です。南あわじ市、淡路島のファンを全国に拡大し、繰り返す多くの人に訪れていただける起爆剤になると確信しています。

### その4は「教育環境の整備」です。

小中学校の100%耐震化や大規模改修など教育環境整備を進めてまいりました。更なる充実に取り組むとともに、学力向上や小学生が淡路人形浄瑠璃への関心を高め視野を拡げるための支援を継続します。

また、生涯学習の拠点となる三原公民館の改修が完了します。中央公民館として、生涯学習の中核を担うとともに、他の社会教育施設も改修等を図りながら再編計画に基づき適切に運用します。

## 市役所新庁舎の竣工式を開催



▲竣工した市役所新庁舎(本館)

市役所中央庁舎の隣で進めていました新庁舎の建設工事がこのほど完成し、3月1日、工事関係者及び市役所関係者ら約120人が出席して竣工式が行われました。

これまで市役所の業務は旧4町の役場などを利用して、5庁舎に分散して業務を行っていましたが、一元的な行政サービスの向上と組織の効率化による経費の削減などを目的に、平成25年9月から新庁舎の建設を進めてきました。

完成した庁舎は鉄筋コンクリート造り4階建てで、延床面積は約7000平方メートル。近い将来に発生が懸念さ



▲式辞を述べる中田市長

れる南海トラフ巨大地震などに対応するため、免震構造を採用しています。さらに72時間稼働できる自家発電設備や太陽光発電を備え、災害時の拠点となる庁舎となっています。またガラス張りにより自然光を多く採り入れる設計になっているほか、市特産の淡路瓦を屋根や外壁材として約3万5000枚使用した「南あわじらしい」建物となっています。

竣工式で中田市長は「市制10周年の記念の年に新庁舎が完成したことをうれしく思う。『市民に親しまれる庁舎』となるよう、職員一丸と

### 新庁舎フロア案内

4階	議事事務局、情報課
3階	危機管理課、秘書課、ふるさと創生課 うずしお世界遺産推進課、総務課、財政課 管財課、環境課、選挙管理委員会事務局 監査委員事務局、固定資産評価審査委員会事務局
2階	商工観光課、農林水産課、食の拠点推進課 農地整備課、建設課、都市計画課 下水道課、農業委員会事務局
1階	市民課、税務課、福祉課、長寿福祉課 地域包括支援センター、健康課 子育て支援課、会計課

※教育委員会は5月31日まで西淡庁舎で業務を行います。6月1日から第1別館2階・第2別館2階で業務を開始します

※水道業務に関する手続きは、4月6日から第1別館1階淡路広域水道企業団南あわじ市お客さまセンター(☎43-3038)になります

4月6日開庁

なっており市民サービスの向上に努めていく」とあいさつしました。

竣工式では新庁舎の設計監

理を行ったNTTファシリティーズ・社家一級建築士事務所・フタバ設計共同企業体と新庁舎建設工事を行った大林・柴田特別共同企業体、外構工事を行った宮本土建にそれぞれ中田市長から感謝状が贈られました。



▲新庁舎を見学する内覧会参加者

竣工後の内覧会では一般開放され、約430人の市民が新しく完成した庁舎内を見学しました。

## 広報南あわじ特別号を発行!!

新庁舎完成に伴い広報南あわじ特別号を発行し、自治会を通じて3月中旬に各戸へ配布しました。

まだお手元に届かない場合は、最寄りの市民交流センターにてお渡しします。なお、市のホームページにも掲載しています。

